

し わ 紫波 ネット

SHIWA-NET
人と地域をつなぐ広報紙
No.899 2014

11

紫波ネット899号 平成26年11月12日発行
岩手県●紫波町 〒028-3392 紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社

<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>



【表紙の写真】紫波町民劇場(藤尾充代表)第5回公演は、中央公民館で、2年ぶりに行われました。脚本から演出、キャスト、スタッフまで約100人の町民が関わって作り上げられた今回の劇は、江戸時代の佐比内金山を舞台に、金山の歴史と隠れキリシタンの弾圧、時代を生き抜く人々の姿を描いた大作。約半年間にわたって練習を重ねてきた演者たちの熱演に、会場からは大きな拍手が送られていました。(P20)



佐比内金山に秘められた 隠れキリシタンの物語を町民有志が熱演!

紫波町民劇場第5回公演「～佐比内金山キリシタン物語～南部金山繁盛記」(10月26日)

快適で美しいまちづくり まちの環境美化活動

02

- 08 オガールニュース
- 09 豊かな公が息づくまち
- 10 受賞おめでとう
- 11 体協だより
- 12 環のくに紫波
- 16 健やかランド紫波
- 18 町の魅力をずっぱり堪能!!
今年も盛況 産業まつり
- 24 シリーズ行ってみよう 訪ねてみよう紫波の達人



話題●産業まつり



まちの話題●日詰公民館と大槌町が交流



まちの話題●上平沢小学校でそば打ち体験



オガールニュース●小泉進次郎氏が視察

快適で美しいまちづくり まちの環境美化活動



皆さんは、町が循環型まちづくりの第一歩を歩み出した際に発表した「新世紀未来宣言」をご記憶でしょうか。平成12年6月に発表したこの宣言の最後には、「紫波の環境を百年後の子どもたちに、よりよい姿で残し伝えていきます」という言葉があります。

現在、町では「新世紀未来宣言」の精神が失われることなく継承され、美しい環境を残し伝える活動が続けられています。

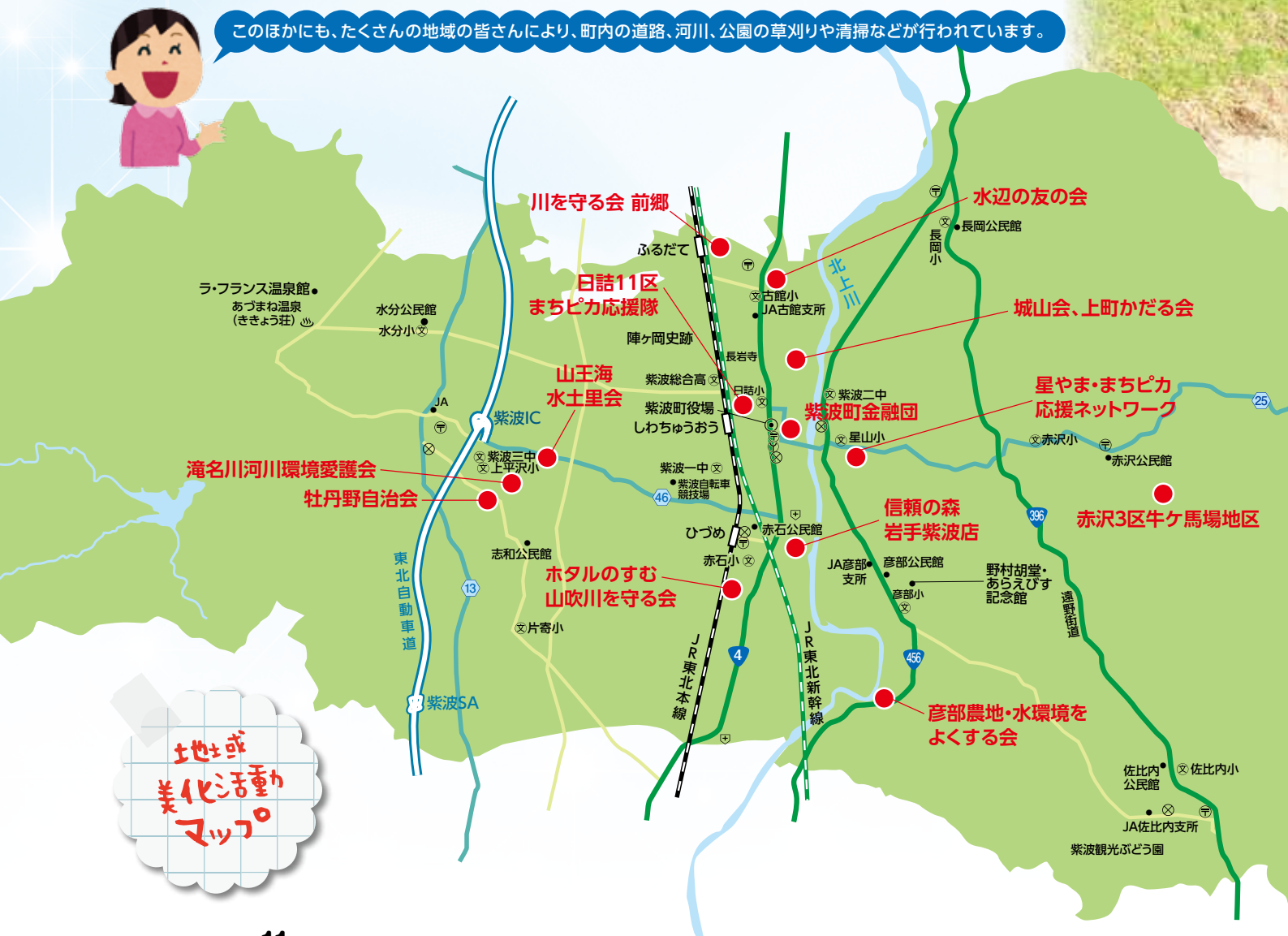
特集では、快適で美しいまちづくり活動に取り組む皆さんに注目。さまざまな活動の中から、今回は「紫波まちピカ応援プログラム」に参加する団体を訪ねて、その活動を紹介します。

●地域美化に取り組んでいる団体の皆さん

町内には、自分たちの身近な地域を自分たちの手で美しく保とうと立ち上がり、活動を続けている皆さんがいます。広報『紫波ネット』で近年取り上げた団体の皆さんを、一覧とマップで紹介します。

団体名	活動場所	内容
城山会	城山公園	公園内の草刈りなど
上町かだる会	城山公園	公園入口道路の清掃、桜の剪定の手伝いなど
赤沢3区牛ケ馬場地区	赤沢あじさいロード	道路沿いのあじさいの植栽・手入れなど
滝名川河川環境愛護会	上平沢地区の滝名川周辺	河川敷の清掃・草刈りなど
彦部農地・水環境をよくする会	彦部地区内の道路	コスモスロードの整備・清掃・草刈りなど
牡丹野自治会	県道志和石鳥谷線周辺	道路の清掃・草刈り、花壇整備など
星やま・まちピカ応援ネットワーク	国道456号など、星山地区の道路	道路の清掃・草刈りなど
水辺の友の会	岩崎川・太田川(五内川)	川の清掃、周辺の草刈りなど
川を守る会 前郷	宮手川・太田川(五内川)・中島児童公園	川の清掃、周辺の草刈り、公園の清掃など
日詰11区まちピカ応援隊	町道北日詰朝日田線など、地区周辺の道路	道路の清掃・草刈りなど
紫波町金融団	日詰ふれあい広場	広場の清掃・草取りなど
信頼の森 岩手紫波店	日詰駅前および近隣公園、紫波中央駅前、日詰商店街	道路の清掃
山王海水土里会	紫波第三中学校北側の中央幹線用水路	用水路の清掃、緑化活動など
ホテルのすむ山吹川を守る会	山吹川	川の清掃、周辺の草刈りなど

このほかにも、たくさんの地域の皆さんにより、町内の道路、河川、公園の草刈りや清掃などが行われています。



土地や
美化活動の
マップ。

身近な地域の美化活動

紫波まちピカ

応援プログラムに

参加してみませんか

紫波まちピカ応援プログラムとは？

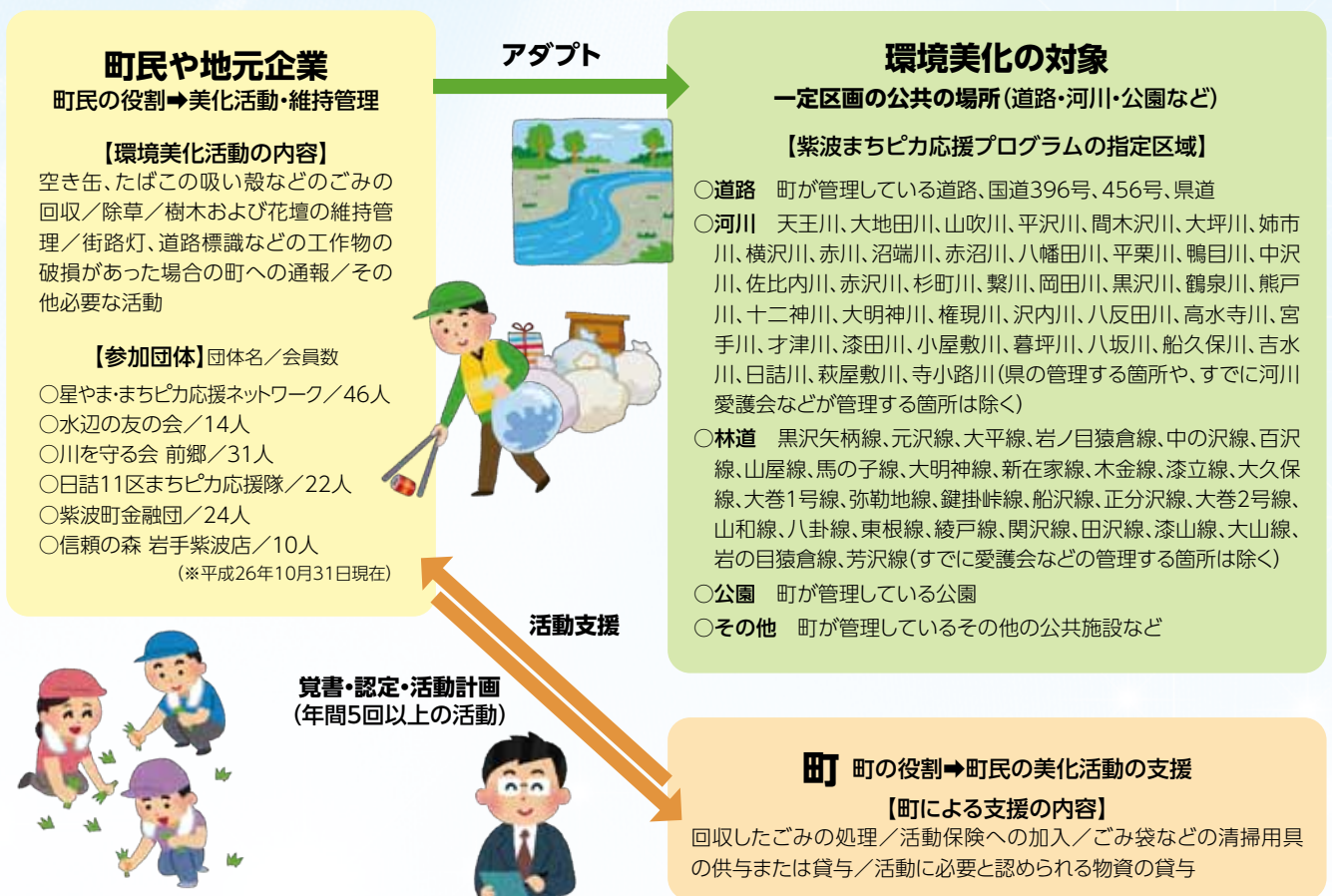
「紫波まちピカ応援プログラム」は、他の市町村でも取り組みが始まっている「アダプト・プログラム（里親制度）」の考え方に沿った取り組みとして、平成16年に始まりました。アダプトとは、英語で「～を養子にする」という意味。まるでわが子の世話をするように愛情を持って公共の場所の美化活動に取り組み団体を町が支援するものです。

「紫波まちピカ応援プログラム」では、環境美化活動に参加する団体と町とが、活動内容などについてあらかじめ覚書を交わします。団体は、町が管理する道路、河川、公園の清掃や除草、花壇の維持管理などの活動を定期的・継続的に行い、町は、活動保険の加入や清掃用具やのぼり旗の貸し出しなどを行い、その活動を支援します。

環境美化活動に携わるのは、公共施設周辺の地域に住む住民の皆さんや美化活動に関心のある方がボランティアとして集まって結成した団体です。現在このプログラムには、町内6つの団体が参加しており、それぞれの目的と方法で活動を展開しています。今回の特集では、そのうちの3団体の皆さんから、活動についてお話を伺いました。



紫波まちピカ応援プログラムの仕組み



皆さんも「まちピカ」に参加してみませんか？

町は、「紫波まちピカ応援プログラム」に参加する団体を認定し、その活動を支援しています。※任意団体によるボランティア活動が対象です。

【問合せ】 環境課 生活環境室 ☎672-2111 (内線3521・3523)

楽しみながら 地域をつなぐ ピカ隊活動

日詰11区まちピカ応援隊

「日詰11区まちピカ応援隊（以下「ピカ隊」）は「地域でできることは地域でやろう」と平成17年に結成された団体です。地域と関わりながら、地区内の道路の清掃や草刈り、花壇の整備、資源回収活動などを定期的に行っています。

ピカ隊の最大の特徴は、地域の絆を結ぶ気づかいや思いやりを大切にしていること。活動を長続きさせる秘訣やコツとも言える、暗黙のルールのようなものがあり、誰もがそのことを大切に考えて活動しています。お二人の話からまとめる次のようになります。

○時間に余裕のある65歳以上の退職者を勧誘する

○ふるさとを大切に思う気持ちを持つ

○楽しみながら活動する

○みんなで気軽に参加できる雰囲気づくりを大事にする

○地域を守る意識をみんなで高め合う

○地域の絆を深める親睦を大切にすること
決めことが全くないわけではありませ



隊長 梅澤 正光さん(右)
副隊長 榎原 康彦さん(左)

ん。複数人で継続的に活動するために、みんなで決めたことがらを会則にして活動しています。また、資源回収活動で得た資金は、いこいの家の活動や子ども会の活動などの支援、地域の皆さんにも参加を募って行うピカ隊主催の親睦旅行に活用するなど、地域に還元しています。

このように、地域との関わりを大切にしているピカ隊の活動は、自然と地域内での見守り活動につながることもあるそうです。さらに今年は、積極的かつ丁寧に取り組んでいる活動を認められ、(公社)食品容器環境美化協会のアダプト・プログラム助成団体にも選ばれました。

環境美化活動を広げるためには、リーダーの素質が重要だと榎原さんは言います。「住民として地域の中で親しく会話を交わし、お付き合いのできる人が良いですね。その点、わがリーダーは素晴らしい」。活発な活動を長く継続できる原動力には、お二人の息の合った協力があるようです。

平成25年度活動報告から (一部抜粋)

- 4月 まちピカ隊通常総会
- 5月 けやき並木通り清掃／役員会
- 6月 除草剤散布／子ども会資源ごみ収集・積み込み／新幹線側の池南側周辺草刈り除草
- 7月 花壇の整備／新幹線側の道路の草刈り／集積所周辺除草
- 8月 除草剤散布(区内の道路、あさひ会館周辺)／ピカ隊主催の親睦旅行
- 9月 けやき並木通り清掃／子ども会資源ごみ収集・積み込み
- 10月 けやき並木通り清掃
- 11月 花壇の整備／保管庫資源ごみ積み込み
- 12月 役員会／けやき並木通り清掃／忘年会／保管庫資源ごみ積み込み
- 2月 保管庫資源ごみ積み込み／役員会
- 3月 保管庫資源ごみ積み込み



おそろいのジャンパーと帽子を身に付け、早朝から活動を行うピカ隊の皆さん(11月3日)



町の補助と町内会の協力を得て設置した資源ごみ保管庫



タイヤなど大型のごみが見つかることも



活動開始直後のころは、自転車の投げ捨てが多かった



少しずつきれいになった川には魚の姿が!

「私」の息子も参加していますが、若者たちは活動の主戦力になってくれています。川には粗大ごみも捨てられています。川には粗大ごみも捨てられていくことがあるので、若い力は頼りになる存在です」と吉田代表。

活動を始めた当初は、こんな大きなものも捨てるのかと驚くような粗大ごみが川底に沈んでいたそうです。会員メンバーの苦勞が分かる写真が、まとめて記録に残されていました。

「川を守る会 前郷」は、紫波町と矢巾町の境を流れる太田川をきれいにしようと地区民有志が集まり、平成17年6月に発足した団体です。宮手川や太田川、中島児童公園での清掃活動などを月1回ほどの頻度で行っています。前郷地区は、古館ニュータウンに移り住んできた住民の多い地区。会のメンバーは60代から70代が中心ですが、近年は、次世代へと活動をつなぐ若い世代も入ってきています。



代 表 吉田 勉さん(左)
事務局 八重樫榮司さん(右)

活動をつなぐ 若い世代が育っています

川を守る会 前郷

「川を守る会 前郷」では、年度始めに、月1回程度の活動を目安にした年間計画を作ります。活動参加者が毎回予定の確認を連絡し合わなくてもいいように予定の変更はできるだけ行わないようにしているとのこと。特に連絡しなくても会員31人のうち20人ほどが毎回集まって活動しており、参加率は決して低くありません。

「最近では、川がきれいになってホタルが少しずつ見えるようになってきましたし、魚の群れも戻ってきました」と八重樫さん。

吉田代表は「活動を始めて、地域みんなが川の環境に気を付けるようになってきました。夏場に子どもたちが遊べる川になるといいなと思っています。子どもたちと一緒に水質調査を行い、結果を公表できるようにしたいです」と今後の活動への期待をふくらませています。

「川を守る会 前郷」では、年度始めに、月1回程度の活動を目安にした年間計画を作ります。活動参加者が毎回予定の確認を連絡し合わなくてもいいように予定の変更はできるだけ行わないようにしているとのこと。特に連絡しなくても会員31人のうち20人ほどが毎回集まって活動しており、参加率は決して低くありません。



中学生が社会参加活動の一環として活動に参加した平成20年の活動

日詰ふれあい広場で 4銀行が協力し清掃奉仕

紫波町金融団



紫波町金融団幹事

北日本銀行紫波支店 支店長 熊谷和弘さん(左)
北日本銀行紫波支店 次長 桜庭 修さん(右)

紫波町金融団は、発足当初の平成21年から、日詰商店街に支店を置く4つの銀行が協力し、一つの活動団体として清掃奉仕活動に取り組んでいます。春から晩秋にかけて年5回、活動幹事を決めて、日詰ふれあい広場を清掃しています。

清掃活動に参加するのは、主に外回りの若手の行員。地域住民との接点が多い外回りの行員は、清掃活動の際に町民から声をかけられることも。清掃活動が地域とのふれあいの機会にもなっています。

「4銀行がまとまって活動する場所

は、町の皆さんが普段使う場所が良
いとして、日詰ふれあい広場で活動を
始めた聞いています。年5回の活動
回数は、全く苦になりません。私たち
は、冬まじりの雪像作りにも参加して
いるので、地域の皆さんに声をかけら
れることを楽しみにしています」と桜
庭さん。

「私は紫波町に赴任して間もないの
で詳しいことは分かりませんが、日詰
商店街のひなまつりなど、アイデア豊
かなまちづくりで頑張っているなど感
じています。また、紫波町は、病院や
子育て施設などコンパクトに公共施設
がそろって住みよい町だなと思ひ
ます。地元の皆さんと一緒に、清掃奉
仕を通じてまちづくりに協力できれ
ばいいなと思います」と話す熊谷さん
には、まちピカの活動を広げるアイデ
アがあります。「それは、子どもたち
を活動の輪に入れることです。大人た
ちと一緒に活動することで、世代をつ
なぐ工夫を生かすことができると思ひ
ます」



4銀行から約30人が参加し、協力して広場を清掃しました(10月23日)

小泉進次郎大臣政務官が来町 オガール地区を視察

とが必要。そのためには、地域の人たちがまちづくりに参加する意識を日常的に持ち、関わっていくことが大切。民間の活力を使いながら、後世への負担を最小限にし、利益を最大限にして、公有地や公共施設の利用を考えたオガールプロジェクトの形は、地方創生のひとつの鍵。民間、行政、住民の団結力が、オガール地区の成長を支えていくのだと思います。今日学んだことを持ち帰り、全国的な地方創生について議論を深めていきたい」と町の取り組みに大きな関心と期待を寄せていました。



「～まち・ひと・オガール～自立できる産業・雇用づくり」と題した公開ディスカッションで意見を交わした小泉氏



小泉氏は、役場新庁舎建設現場やオガールタウンも見学し、まち全体の完成をとて楽しみにしていました。

内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官の小泉進次郎氏が9月24日、オガール地区を訪れ、オガールプラザや役場新庁舎、オガールベースなどの各施設を見学後、オガールプロジェクトに関わっている事業者や町の職員と地方創生について議論を交わしました。

小泉氏は「地方創生には、全国の各自治体が『ここは絶対に他に負けない』というものを強みにし、誇りと自信を取り戻すこ

言葉のチカラと 奥深さを感じた2日間 「ただようまなびや文学の学校 岩手分校」

情報交流館で10月25、26の両日、「ただようまなびや文学の学校 岩手分校 2014」が開かれました。この学校は、小説家の古川日出男さんが昨年開校したもので、今回が初めての分校開催。

参加者からは「ワークショップは、次にどんなことをするのだろうというワクワク感がありました。先生方がみんなやさしく、とても楽しい授業でした。もっと話を聞きたかったです」

同校実行委員会（工藤哲人実行委員長）が主催し、図書館が共催しました。小説家の古川さん、川上弘美さん、岩手県釜石市出身の沢村鐵さん、翻訳家の柴田元幸さん、音楽家の大友良英さんという豪華講師陣の話を直接聞ける機会とあつて、県内外から延べ400人が参加。さまざまな角度から言葉、文学、音楽の奥深さに触れ、学びを深める貴重な時間を共有しました。

「『学校』という教室スタイルが講演会とは違って心地長く、隣の方々とお話しできる雰囲気がありうれしかったです」など満足感あふれる声が聞かれました。古川さんは「どのワークショップでも、授業時間を超えるほど活発に意見が出され、非常に盛り上がることでございうれしかったです。言葉の意味を豊かにし、自分なりに広げ、それを他の人に届けていくと、言葉の能力がどんどん広がっていきます。この学校での体験を日常生活に生かし、暮らしの中のさまざまなものを豊かにしていってほしい」と受講生にメッセージを送りました。



授業はいつでも、参加者も講師の先生も本気で考え、学び、気付く、とても豊かで白熱した学びの場でした。



中島敦の「山月記」を題材にワークショップを行った古川さん

紫波町図書館
開館2周年
記念事業

豊かな公が 息づくまち



地域の方々が自ら地域課題に気づき、話し合い、取り組みを進めている地区の実践発表もありました。



一戸町高屋敷町内会の
愛木 稔会長



古館地区公民館の
水本千恵子指導員

多くの事例を交えながら
講演した櫻井教授



協働の
まちづくり
フォーラム

「みんなが声を出し合える 話し合いの場」づくりを目指そう

情報交流館で10月27日、協働のまちづくりフォーラムが開かれ、町内外から訪れた約60人が協働のまちづくりの必要性や地域づくりの在り方について学びを深めました。

高崎経済大学地域政策学部（群馬県）の櫻井常矢教授は、「実践に学ぶ！これからの地域づくりへのヒント」と題した基調講演の中で「人口減少などが急速に進む危機的状況の中、自分たちのためにやる地域づくりこそが地域の暮らしを支える」と協働の必要性について述べ「自分たちだけでは限界もあることから、外と上手につながる事ができる開かれた地域になることが大事」と指摘。また「イベントや事業を行うことが『地域づくり』ではなく、前段にある地域課題の洗い出しや話し合いのプロセスこそが『地域づくり』と強調し、「『どんな地域にしたいのか』という目標を明確にすることや、横のつながりをつくりながら『どうしたら活力ある地域を持続できるか』を考えること、声を出し合える話し合いの文化を根付かせることが、1人1人の思いを育む地域づくりにつながる」と述べました。

活動紹介

子育ての悩みをみんなで語り合い、 共有する みすず広場

みすず広場（阿部圭子代表は「子育ての悩みをみんなで語り合え、なんでも話せる仲間を見つける場がほしい」という思いから、昨年、町の地域づくり活動補助金を活用して活動を始めたグループです。保護者の皆さんの声に寄り添いながら、勉強会やイベントなどを開催しています。

10月10日には、子育て応援センター「しゅわっせ」で、子ども音楽教室を開催しました。就学前の子どもと保護者17組が参加し、（一社）音楽療法推進プロジェクト「えころん」の智田邦徳先生の楽しいお話を聞きながら、おもちゃやバチなどを使って音を鳴らす体験をしました。

「懐かしい歌を歌うと昔のことを思い出したり、楽しい曲を聞くと体を動かしたくなったりします。音楽には、心と体、そして人と人の、あいだに働きかける不思議な力がある」と話す智田先生。

この日参加したあるお母さんは「普段は、大きい音に敏感で、大勢のお友達になじめない息子ですが、この教室では笑顔いっぱいとても楽しそう」とうれしそうに語っていました。



パンや果物の形をした音の出るおもちゃなどを使って、楽しく音楽に触れました。

子育てをしている中で「あったらいいな」と思うことを始めたという阿部代表。この思いに賛同する方々が集い、今年度はペアレント・トレーニング（※）の指導者研修にも取り組んでいます。子どもを温かく見守り育てたいという一人のお母さんの思いが少しずつ形になり、地域の子育て支援につながっています。

※ペアレント・トレーニングとは、子どもの行動の理解を深めながら、その子どもに合った接し方などを練習すること。

受賞おめでとう!!



紫波郵便局で表彰状を受け取った(左から)藤戸さん、久慈珠詩君、詞音君(9月30日)

郵便局主催の俳句大会で 町内3人が入賞

日本郵便(株)盛岡中央郵便局が主催した第1回岩手県民「かだれ!集まれ!俳句名人」の入選作品が発表され、町内からは、成年の部で藤戸ちよ子さん、年少の部で久慈珠詩君、久慈詞音君が入賞しました。作品テーマは「絆」もしくは「夢」。応募総数約3400作品の中で、さらにと感性を光らせた3人の作品を紹介します。(敬称略)

(成年の部)

入選 虫時雨 神は福耳ぶら下げて

藤戸ちよ子(日詰)

(年少の部)

優秀賞 せみが鳴く祖母の家まで飛べたらな

久慈 珠詩(日詰小学校4年)

佳作 スズ虫とぼくのチューバで演奏だ

久慈 詞音(日詰小学校6年)

「桜の札所・絵画コンクール」 で日詰小の児童が入賞

盛岡信用金庫(佐藤利久理事長)主催の第2回「桜の札所・絵画コンクール」で、日詰小学校の児童3人が入賞し、9月9日に同校で表彰状贈呈式が行われました。応募された212作品のうち、最高賞の盛岡信用金庫理事長賞を受賞した岩越菜妃さん(6年)は「受賞できると思っていなかったもので、びっくりしました。一生懸命描いたのでうれしいです」と喜びの表情を見せていました。入賞者と作品名は次のとおりです。(敬称略)

盛岡信用金庫理事長賞

『日詰小学校』 岩越菜妃(6年)

審査員特別賞

『日詰小学校東側の駐車場』 高松優真(6年)

『日詰小学校の校庭』 一条佳穂(6年)



作品の写真が印刷された表彰状を受け取った(左手前から)高松君、岩越さん、一条さん

町内の子どもたちが俳句に挑戦 第23回紫波町俳句大会

町の芸術祭に、今年も町内の子どもたち372人から俳句847句が投稿され、受賞者が決まりましたので、一部を紹介します。入賞作品は、広報の文芸コーナーで俳句の選者を務めている吉田一路先生を含む5人が選出しました。(作品・学校と学年・作者(敬称略))

(小学生の部)

最優秀賞

『神無月 神はいないが友はいる』

『もみじの葉 妹の手とよくにてる』

優秀賞

『風を切り空をくすぐる赤とんぼ』

『夕焼けがわたしの町を染めていく』

『春が来て木々に心に花がさく』

『けい老の日 長生きしてねおばあちゃん』

『さんま焼きねこが来るほどいいにおい』

『夕焼けや映るすすきの影踊る』

『元日に今年の目標紙に書く』

『田植えてどろの数だけ頑張った』

『花火見てみんなの笑顔はじけるよ』

(中学生の部)

最優秀賞

優秀賞

『残雪と共に消えゆく淡い恋』

『落ちていくつらの涙輝けり』

古館小学校6年 谷崎 友亮

水分小学校3年 吉田 華恩

日詰小学校6年 谷地 星

日詰小学校6年 一条 佳穂

赤石小学校6年 似内 京央

古館小学校4年 盛合 静穂

古館小学校5年 伊藤野々花

古館小学校6年 齊藤 友那

片寄小学校6年 佐藤 伊織

彦部小学校6年 赤川 優真

古館小学校5年 佐々木伶奈

該当作なし

該当作なし

紫波第二中学校3年 阿部 陽

紫波第三中学校3年 長沼 沙耶



体協だより

●発行● 一般財団法人 紫波町体育協会 ☎676-2650
E-mail: taikyou@gymna-shiwa.jp



みんな 待ってるよ!

平成26年度 | 冬期スポーツ教室のご案内

教室受講希望者は、体育館窓口で会員登録が必要です。

会員登録料 (傷害保険料含む)	幼 児	小中学生	高校生以上	60歳以上
	無 料	800円	1300円	1000円

教室名 (会場)	開催期間	内容・対象・定員	受講料
スケート教室 (石鳥谷アイスアリーナ)	1/6(火)~1/8(木) (全3回) 8:30~11:30 ※バス送迎有り	初めての人でもスケート靴の履き方から指導するので安心。レベルに応じてクラス分けをして指導します。※日程が変更になる場合があります。 対象:小学生以上/定員:40人	小中学生 3500円 高校生以上 4000円
スキー教室 (網張温泉スキー場)	1/4(日)、10(土)、11(日)、 17(土) (全4回) 8:00~16:30 ※バス送迎有り	スキーの基本から応用まで個人の技術レベルに応じてクラス分けをして実施します。 対象:小学4年生以上/定員:40人	[参加料] 小中学生 4000円 高校生以上4500円
スノーボード教室 (網張温泉スキー場)		初めて挑戦する人から、レベルアップしたいと考えている人まで個人の技術レベルに応じて指導します。※貸し用具があります。 対象:小学5年生以上/定員:20人	[リフト代(個人負担)] 中学生以下 1000円 高校生以上 2000円
小学生スポーツ教室 1・2・3年コース (総合体育館)	1/13(火)、14(水) (全2回) 10:30~11:30	運動能力向上を目指したプログラムを遊びを取り入れて実施します。さまざまな運動動作の体験など。 対象:小学1~3年生/定員:20人	800円
体育塾 高学年コース (総合体育館)	1/5~3/16 隔週月曜 (全6回) 17:30~18:30	運動能力のスキルアップを目的としたプログラムを遊びを取り入れて実施します。 対象:小学4~6年生/定員:20人	1500円
ちびっこ サッカー教室 (サン・ビレッジ紫波)	1/13(火)~1/15(木) (全3回) 16:00~18:00	サッカーの基本からミニゲームまでができるまで指導します。内履用のシューズをご持参ください。 対象:小学1~4年生/定員:30人	1000円
トレーニング教室 (総合体育館)	1/20、1/27、2/3 隔週火曜 (全3回) 10:30~11:30	トレーニング室を利用する前に知っておきたい正しい知識、効率のよい運動方法を一緒に覚えましょう。 対象:一般成人/定員:10人	500円

12月5日 (金) 午前9時より、総合体育館窓口で受付開始

当日は、整理券を配布します。

整理券は教室別に1人2家族分です。

整理券有効期限:12月5日のみ(受付時間:午前9時~午後8時30分)

★各教室とも、定員になり次第募集を締め切りますので、お早めに申し込みください。

★開講2日前までに、5人以上の申し込みがない教室は開講しませんのでご了承ください。

【問合せ】紫波町体育協会 ☎676-2650/有線01-3151

「エコ・ショップしわ」 新たに2店舗



「エコ・ショップしわの名にふさわしい活動を展開していきたい」と決意を述べた作山厚子さん(中央)と根水組合長(右から2番目)

環境に優しい取り組みをしている小売店舗や飲食店を「エコ・ショップしわ」として認定し、その取り組みを応援するもの。作山商店は客の要望に合わせた商品のバラ売りや地区の廃品回収への参加など、紫波ふる里センターはジューズ瓶の再利用や組合員への簡易包装の呼びかけなどの取り組みが評価されました。熊谷町長は2団体に対し「循環のまちづくりの推進に、これからもご協力をお願いします」と激励の言葉を送りました。

「エコ・ショップしわ」認定店は現在町内で18店舗あり、各店舗ではエコbeeクーポン券を利用することができます。

町は9月25日、新たに「エコ・ショップしわ」に認定した作山商店(作山和彦店長)と紫波ふる里センター(根水康博組合長)に対し認定証を交付しました。「エコ・ショップしわ」認定制度は、ごみの減量やリサイクル活動など、



「森林の有効活用、活性化につながる取り組みを展開していきましょう」と熊谷町長から認定証を手渡される山口代表取締役(左)と高橋代表理事(中央)

循環型社会の推進を目指し 町内2業者を「木質バイオマス 燃料等供給事業者」に認定

町は9月1日、町内の木材を原料として加工した薪、木質チップ、木質ペレット、またそれを利用して生産された冷暖房熱などのエネルギーを供給する町内の業者を認定する「木質バイオマス燃料等供給事業者認定制度」を創設しました。10月27日には初めての認定証交付式が行われ、薪の製造、販売などを手がける(一社)紫波町農林公社(高橋公一代表理事)と、木質チップを使用し地域熱供給事業を行う紫波グリーンエネルギー(株)(山口勝洋代表取締役)の2社が交付を受けました。

認定事業者が販売する商品には、エコbeeクーポン券の利用が可能になります。すでにあるエコbeeクーポン券の取り組みと合わせること、町内の資源循環が一層図られることが期待されます。

報告 家庭ごみ 月別排出量

町内で排出された家庭ごみの量を、3カ月ごとにまとめてお知らせします。



単位:kg

	7月	8月	9月
燃やせるごみ	392,180	404,880	377,680
生ごみ	75,940	101,300	84,630
資源ごみ	81,080	76,590	77,730
大型・不燃ごみ	38,380	39,070	41,760
その他	2,510	1,880	2,730
計	590,090	623,720	584,530

催し

親子わらわったであそぼう会

わらわったに合せて親子で楽しくゆったりと遊ぶ会です。動きやすい服装でお出かけください。

■日時 11月17日(月)

午前10時30分～11時30分

■会場 虹の保育園

■問合せ おはなしの森 菅原

☎(673)6261

図書読み聞かせ
ボランティア研修会
「子どもと楽しむ読み聞かせ」

読み聞かせの楽しみを味わってみませんか。「心にしみる読み聞かせの在り方」についての講話と実演の後、長岡小学校の「図書まつり」を観覧します。子どもの読書活動に興味のある人はご参加ください。

■日時 11月21日(金)

午前9時～午後0時30分

■会場 長岡小学校 図書室、プレイルーム

■講師 「ことせ音読教室」の皆さん

■申込・問合せ 生涯学習課

☎(672)3362

(※)直接会場でも受け付けます

第37回 こどもの本「学び・羅針盤」

こどもの本の世界について、「一緒に語り合いませんか。聞くだけの参加も大歓迎。興味のある人は、お出かけください。」

■日時 11月22日(土) 午前10時～正午

■会場 紫波町図書館 ミーティングルーム

■内容 「ハルベルという子がいた」(ペー

ター・ヘルトリング作/偕成社)

■問合せ おはなしの森 菅原

☎(673)6261

しわ介護の日
「みんなの力を介護の力に」

「介護」について一緒に学んでみませんか。講演会のほか、町内介護施設の紹介や介護用品展示・認知症相談も行います。どなたでも参加できますので、お気軽にお出かけください。

■予約不要

■日時 11月22日(土) 正午～午後4時

■会場 情報交流館 2階 大スタジオ

■内容

・講演 「看取りについて」

午後1時～2時30分

講師…松嶋 大(もりおかナラティブ勉強会代表、中津川病院医師)

・寸劇 「認知症があっても大丈夫」

午後2時30分～3時

出演…しわ劇団「みまこ座」

※介護用品展示や介護相談は、1階 市民

交流ステージ 正午～午後4時

■問合せ

紫波町社会福祉協議会

☎(672)3358

長寿健康課 高齢者支援室

☎(672)4522

第2回 紫波ウイング杯ランニングバイクチャレンジレース

総合型地域スポーツクラブ「紫波ウイング」が主催する、幼児対象のペダルのない自転車を使ったレースです。自転車とヘルメットの貸し出しがあります。

■日時 11月22日(土)

午前8時30分～正午

■会場 総合体育館

■対象・定員 6歳以下の未就学児(年長、年中、年少以下の部 各12人)

■参加費 会員1000円

非会員1300円(保険料込)

■申込・問合せ 11月19日(水)まで

総合体育館にある申込用紙もしくは電話、メールで申し込みください。

紫波ウイング(総合体育館内)藤根

☎080(5847)5962

✉shiwawg@gymnashwajp

腹囲マイナスイセンチ講座

楽しく運動をして、メタボのお腹も気分もスッキリ元気に！

■参加無料

■日時 12月2日(火)、4日(木)、9日

(火)、11日(木)、16日(火)、18日(木)(全

6回) 午後6時30分～7時30分

■会場 保健センター ホール

■内容

エアロビクス、ストレッチ、健康食講話

■講師 紫波町スポーツ推進委員

高橋 厚子氏

■定員 40人

■申込・問合せ 11月26日(水)まで

長寿健康課 健康推進室

☎(672)4522 有線(01)8991

ゲートキーパー講座

あなたの大切な人の様子がいつもと違う時、どのように声をかけますか。あなたのその気づきや声かけが大切な人の心を救うかもしれません。

■日時 12月3日(水)

午後1時15分～4時

■内容 大切な人の「いつもと様子が違う」の気がつき方・声のかけ方

■会場 情報交流館 2階 大スタジオ

■定員 50人程度

■申込・問合せ 11月28日(金)まで

福祉課 福祉推進室 ☎(672)2111

内線1523 ※各地区公民館、情報

交流館にチラシがあります。

日帰り温泉で
介護者のリフレッシュ

自宅でご家族の介護をしている人を対象とした日帰りの事業です。介護者の皆さんと交流や情報交換をしながら、リフレッシュしてみませんか。希望者には送迎も可能です。

■対象 在宅で要介護1～5の認定を受けている人を介護しているご家族

■日時 12月3日(水)

午前10時～午後3時

■会場 あづまね温泉ききよう荘

■参加費 1020円(昼食付)

■定員 15人

■申込・問合せ 11月26日(水)まで

長寿健康課 高齢者支援室

☎(671)1101 有線(01)8991

※参加に際して、ショートステイなど介護保険サービスの利用が必要な人は、担当のケアマネジャーにお早めにご相談願います。

家族のための
おもしろ料理教室&食話会

NPO法人紫波みらい研究所が提案する食育推進事業です。町内でとれた安全・安心な食材を使用した料理体験などをおして、食材や料理についての理解を深めます。

■日時 12月5日(金)

午前10時30分～午後1時

■会場 情報交流館1階 キッチンスタジオ

■定員 10人

■内容 意外と作ったことがない「お赤飯」と我が家の味「芋の子汁」づくり／料理の話

■講師 岩手県食の匠 吉田正子さん

■参加費 1人 1000円

■持ち物 エプロン、三角巾

■申込・問合せ 11月28日(金)まで
農林課 食育担当 ☎(672)2111
内線3312 有線(01)8822

親子で楽しいそば打ち体験

稲藤第一農産加工組合が提案する食育推進事業です。生産量県内一の地元産そば粉を使ってそば打ち体験をし、できあがったそばを試食します。(そばの持ち帰りもあります)

■日時 12月13日(土)

午前10時30分～午後1時

■会場 情報交流館1階 キッチンスタジオ

■講師

稲藤第一農産加工組合 西在家悦子さん

■対象 小学生の子と親

■定員 各時間2組(午前10時30分、11時、11時30分、正午、午後0時30分)

■参加料 親子1組 1000円

■持ち物 エプロン、三角巾、上履き

■申込・問合せ 12月5日(金)まで
農林課 食育担当 ☎(672)2111
内線3312 有線(01)8822

北上川上流国有林の森林計画に関する住民懇談会

平成28年から32年までの計画策定のため、盛岡森林管理署が、地域住民の皆さ

んから意見をお聞きする会です。

■日時 12月17日(水) 午後1時30分～4時

■会場 サンセール盛岡(盛岡市志家町)

■募集人数 30人程度

■申込・問合せ 11月20日(木)まで
盛岡森林管理署

☎050(3160)5915

お知らせ

「盛岡ナンバー」の交付が始まります

自動車のご当地ナンバー「盛岡ナンバー」の交付が、11月17日(月)から始まります。

盛岡599
あ 88-48

盛岡ナンバーの例

新車を購入したときや、対象地域以外から対象地域に移転登録した場合などに交付されるほか、希望によりナンバープレートを交換することもできます。対象の地域と車両は次のとおりです。

■対象地域 盛岡市、八幡平市、滝沢市、紫波町、矢巾町

■対象車両 普通自動車、小型自動車、大型特殊自動車、軽自動車、排気量126CC以上の二輪車

■問合せ 企画課 政策調整室
☎(672)2111 内線3221

水道管の漏水調査にご協力をお願いします

上水道の有効利用や道路陥没などの二次災害を防止するため、11月中旬から12月中旬までの昼夜、道路内に埋設された配水管や宅内給水管(メーターまで)の漏

水調査が行われます。岩手中部水道企業団が委託した漏水調査員が調査に伺いますので、ご協力をお願いします。

なお調査員は、企業団が発行した身分証明書を携帯していますので、不審に思われた場合は、証明書の提示を求めてご確認ください。

■問合せ 岩手中部水道企業団 給配水課
☎0198(29)5377

募集

女性就業援助技術講習 介護事務科

県立産業技術短期大学校が主催する女性のための就業援助技術講習会です。介護事務や介護コンピュータ、パソコン基礎、接遇などについて15日間で学びます。

■日時 11月25日(火)～12月24日(水)

■会場

(株)ニチイ学館 盛岡校(マリオス5階)

■対象・定員 就業を希望する女性 16人
(筆記試験と面接による選考有り)

■受講料 無料

(教科書代と受講生保険料は自己負担)

■申込・問合せ 11月21日(金)まで
ニチイ学館 盛岡校 ☎(621)5252

「15年紫波冬まつり」に参加しませんか

今年で10回目を迎える紫波冬まつりに、あなたも参加してみませんか。夢灯りへの参加希望者、記念花火の打ち上げ希望者は、左記まで問い合わせください。

■日時 1月17日(土) 午前11時～午後7時

■会場 ラフランス温泉館交流プラザ、周辺エリア

眠っている不動産はありませんか

土地・建物の有効活用等、ご相談賜ります

秘密厳守
相談・見積は無料

不動産のことなら

(株)紫波中央不動産

〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ソフトバンク紫波さん 隣り)

☎019-671-2161 紫波中央不動産 検索

医療保険適用 在宅マッサージ

無料 お試し体験 実施中!!



歩行が困難な方
身体にマヒがある方。不自由がある方
車椅子使用の方など...

お気軽にお電話ください。

紫波エリア担当 ☎090-3753-0594

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。

あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)

利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ 盛岡となん整骨院

盛岡市三本柳10地割17-53 TEL.フリーダイヤル

☎0120-213-222

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

■申込・問合せ 12月12日(金)まで
(一社)紫波町観光交流協会
☎(676)4477

岩手県農業大学校研究科の 学生を募集します

就農を目指す社会人の皆さん、研究科に入学して農業の知識、技術、経営を学んでみませんか。45歳未満の人は、青年就農給付金(150万円/年)の対象にもなります。

■教育期間 1年間(入寮は希望制)

■入学資格 農業大学の本科卒業または同等者

■定員 20人

■入学試験 平成27年1月16日(金)

■出願期間 12月8日(月)～12月19日(金)

■問合せ 岩手県立農業大学校 研究科・教務担当
☎0197(43)2211

相 談

肝炎相談会

C型肝炎、B型肝炎ウイルス陽性の人を対象とした、専門医の個別相談会です。肝炎の治療内容など、お気軽にご相談ください。

■日程 11月30日(日)

午後1時～(相談時間は1人20分)

■会場 保健センター

■相談医 あべ菜園内科クリニック 院長

阿部 弘一先生

岩手医科大学 消化器・肝臓内科

宮坂 昭生先生

■定員 先着20人

■申込・問合せ 11月20日(木)正午まで

長寿健康課 健康推進室
☎(672)2111 内線6123

特設人権相談所が 開設されます

12月4日から10日は「人権週間」です。

町内では、人権問題に関する相談窓口が開設されます。相談には人権擁護委員の皆さんが応じます。相談内容が他の相談者に聞こえないように、個室が用意されていますので、お気軽にお出かけください。

■相談無料

■日時 12月3日(水)

午前10時～午後3時

■会場 紫波町総合福祉センター 特設相談室

■問合せ 紫波町社会福祉協議会

☎(672)3258 有線(01)2105

「いのちのほっと」相談

「いのちの病」で悩んでいる人やその対応に困っている家族を対象に、専門の医師による相談会を開催します。

■相談無料

■要申込

■日時 12月9日(火)午後1時30分～4時

■会場 紫波町総合福祉センター

■申込・問合せ 12月5日(金)まで

福祉課 福祉推進室

☎(672)2111 内線1523

ママパラインいわて

子育てについての悩みを抱えた皆さんを対象とした電話相談です。

■日時 毎週木曜日 午前10時～午後2時

■対象 子育て中の父、母、養育者

■相談電話 ☎0120(147)445

■問合せ (一社)子どものエンパワメント

いわて ☎(681)9300

自賠責保険・共済なしでの運行は 法律違反です

自賠責保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、自動車損害賠償保障法に基づき、原動機付自転車を含む全ての自動車に加入が義務付けられています。自賠責保険・共済なしでの運行は法令違反ですので、ご注意ください。

自賠責制度の詳細内容は、<http://www.jibai.jp>からご覧ください。

建退共制度をご存知ですか

建設業退職金共済金制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛け金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建

設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

詳しくは、ホームページ(<http://www.kentai-kyo.taisyokukin.go.jp/>)をご覧ください。

○加入できる事業主 建設業を営む人

○対象となる労働者 建設業の現場で働く人

○掛け金 日額310円

■問合せ (独)勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業部 岩手支部
(盛岡市松尾町) ☎622-4536

労働災害防止対策の徹底を お願いします

岩手労働局管内では、7月末現在、労働災害

による死傷者数が前年同期比より9人(1.2%)増加した737人、死亡者数は前年同期比より11人の増加の17人を数えています。特に、死亡者数の増加に歯止めがかかっていない状況です。各事業所では、次の点に留意し、より一層の労働災害防止対策の徹底をお願いします。

○経営者が、安全について所信表明し周知を図る

○朝礼などの機会に全員参加で安全作業を確認し、意思統一と安全意識の高揚を図る

○職種別などによる効果的な安全衛生教育を行う

○安全管理体制と活動状況の活性化を図る

■問合せ 商工観光課 商工労政室

☎672-2111 内線3621 有線01-8893

ぎょうぎょう!3人揃えば
鯨鯨鍋
あん こう なべ

～今年の冬は「美人の湯」「旬の味覚」で決まり～
【期間限定】H26.11/5～H27.1/31

特典① 温泉 サービス
特典② 送迎 無料
特典③ 90分 飲み放題

男性 **5,480円**
女性 **4,980円**
※ともに消費税、入湯税込

■12/30～1/3は対象外とさせていただきます。■飲み放題は90分間となります。(ビール、日本酒、焼酎、ウイスキー、カクテル、ソフトドリンク)■3名様よりご予約を承ります。■無料送迎承ります。(地域限定)■上記金額には、消費税、入湯料、お部屋代が含まれます。■ご希望の希望の方は、上記金額にプラス4,000円となります。(土・休前日は1500円増)

紫波町小屋敷新在家90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556
ラ・フランス温泉館 検索
URL <http://www.lafrance.co.jp/>

ハダカのおつきあいー家だんらん。
La France
ラ・フランス温泉館

紫波の風土がみえるワイン
ぶどう栽培農家の思いから生まれた
100%地元産です

冬ギフト
好評受付
中!!

自園自醸ワイン 紫波

岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
お買い求めは県内酒販店・スーパー・百貨店にて

(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原 1-11 (道の駅紫波の裏手)
☎019-676-5301 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/> 紫波ワイン 検索

やめよう！ メディア漬けの子育て

健やか
ランド紫波
健康と福祉の情報
コーナー



スマートフォン
(以下「スマホ」)
の爆発的な普及に伴
い、子育ての現場に
もスマホが活用さ
れています。スマホを使っている乳幼児の母親
は全体の6割。そして母親がスマホを使ってい
る2、3歳児のうち2割強が自分でもスマホ
を利用しているといわれています。

スマホに子守りをさせたり、子どもをテレビ
やビデオなどのメディアに長時間触れさせたり
することは、子どもたちのさまざまな発達を妨
げる危険があります。親子で目と目を合わせ、
触れ合うことで親子の愛着が育まれます。日頃
の子育てを振り返り、次の点を取り入れていき
ましょう。

言葉を持たない赤ちゃんは、手足を動かし
たり、表情を変えたり、泣いたりして自分の
欲求を親に伝えています。その動作から「ど
うしたのかな」と思いを巡らせ、解決しよう
とするのが親の役割で
す。このような「やり
とり」を通じながら、
親子関係が育ち、愛着
が形成されていきます。
泣いている赤ちゃんを抱

泣いている赤ちゃんを抱



1 赤ちゃんの欲求に適切に応える 「やりとり」を大切に！

きもせずに、あやしアプリの画面を使って
泣き止ませることはお勧めできません。

2 見逃さないで！ 大切な子どものサイン

子どもは「一緒に見てー」「こっち見てー」など
親の関わりを求めています。同じ物や風景を二
緒に見る「視線の共有」や、自分・物・他者といっ
「3項関係」は言葉の発達や、他者の心の理解
や共感性を育てるのに必要なことです。保護者
の「メディア漬け」は、時間と空間は一緒にいる
のに、心は共にいないという状況を作り出して
しまいます。絵本の読み聞かせなど、親子が同
じものに向き合って過ごす時間は、親子が一緒
に育つ大切な時間となります。

3 歩きスマホにご用心！

「歩きスマホ」が歩行者の視野を極めて
限定的にしているといわれています。実際
に「自分がスマホを見ている間に赤ちゃんが
ベッドから落ちてしまった」などという事例
が起っています。ベビーカーを押しながら
スマホを見ていては、周囲の危険
から赤ちゃんを守ることがで
きません。スマホを使う時
間は、赤ちゃんが寝てい
るときに限るな
ど使う時間を考
えてみましょう。



4 親子で体を使って たくさん遊びましょう！

乳幼児期は手の働き一つをとっても握る、つ
かむ、離す、つねる、はさむなどさまざまな動
きを、遊びや実体験を通じて発達させていき
ます。親子で散歩や外遊びで一緒に過ごすこ
とは、子どもの体力・運動能力そして五感や共
感力を育むことにつながります。

(一社)日本小児科医会は子どもとメディアの
問題に対して、以下の5つの提言を公表してい
ます。

- ① 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控え
ましょう。
- ② 授乳中・食事中のテレビ・ビデオの視
聴はやめましょう。
- ③ すべてのメディアへ接触する総時間を
制限することが重要です。1日2時間
までを目安と考えます。テレビゲーム
は1日30分までを目安と考えます。
- ④ 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パン
コンを置かないようにしましょう。
- ⑤ 保護者と子どもでメディアを上手に利
用するルールをつくりましょう。

ぜひ、ご家族で今の生活を振り返り、「メ
ディア漬け」から子どもたちを守っていきま
しょう。



からだよろこぶ ヘルシーレシピ



かぼちゃ

南瓜白玉

紫波町食生活改善推進員協議会 彦部地区会員
佐藤ノリ子さんのレシピです

材料(4人分)

カボチャ	100g
白玉粉	1/2カップ
水	大さじ4
黒みつ	適量
きな粉	適量

- 1 カボチャの皮をむき、軟らかく煮て、熱いうちにつぶす。
- 2 白玉粉に大さじ4の水を入れて混ぜる。
- 3 2に1を加えてよくこね、ひとまとめにする。
- 4 3を食べやすい大きさに丸めて、中心をへこませる。
- 5 鍋にお湯をわかし、4をゆでる。団子が浮きあがってきたら冷水にとる。
- 6 団子が冷めたら水気をきり、器に盛りつける。黒みつときな粉をかけて出来上がり。

●ポイント

カボチャによって水分が異なるので、水は加減して加えてください。

福祉と健康 すこやか情報室



終 活

～エンディングノートをご存知ですか～

エンディングノートとは？

「終活」とは、「人生の終わりに際しての準備活動」を略した用語であり、人生の最後を、自分にとってより良いものとするために行う準備の総括を意味する言葉です。終活を始めるときに、その手助けになるのが「エンディングノート」です。

「安心ノート」「遺言ノート」などといわれているもので、人生の最終章を迎えるにあたり、介護や医療について、もしものときの葬儀、財産、大切な家族、周囲の人たちに向けたメッセージなどを書き記しておくことで、自分の人生を悔いなく、よりよく生きるために書くものです。遺言書とは異なり、「想いを遺す」ものとしても最適です。

若いときとは異なり、どうしても年齢とともに体力、気力、行動力、判断力などが低下してきます。誰でも、人生のエンディングを迎えます。「意思表示ができなくなってしまうけれど、本人は何をしてもらいたいのだろう」「何の財産がどこにあつて、遺産分割や相続手続きはどうしたら良いのだろう」など、家族はさまざまなことでも悩みます。「いざという時は、家族がなんとかしてくれるだろう」と考えても、一番困るのは家族です。

エンディングノートは何となく書くものではありませんので、上手に活用できるよう、注意点を知っておくことも必要です。

町は、下記の日程でエンディングノートの活用についての講演会を開催しますので、興味のある人は、ご参加ください。

こころの健康講演会

『私の老い支度』
いつか来る「老後に備える
ための知恵と極意」

今、話題の「終活」について、「エンディングノート」を使用しながら、学んでみませんか。「最後まで自分らしく」に向けて、毎日を元気に楽しく生きる極意を一緒に学びましょう。参加無料

■日時 12月4日(木)
午後1時15分～4時

■会場 情報交流館2階 大スタジオ

■講師 戸小宮沙智さん(終活アドバイザー)
60人(先着順)

■定員 60人(先着順)

■申込・問合せ 11月28日(金)まで

福祉課 福祉推進室

☎(672) 2111 内線1523

町の魅力をずっぱり堪能!! 今年も盛況 産業まつり



皆さんお待ちかねのもちまき大会は大盛り上がり!



一升もちを背負った子どもたちの
かわいらしい表情と足取りに大歓声



紫波総合高生による船久保さんさ踊り



焼き立てシューシー★しわ黒豚の試食



紫波ひめ隊の華やかな舞が餅つきを盛り立てました



タイルを使って工作に挑戦



姉妹都市 福島県古殿町も出店

小雨の降る中で行われた初日の開会式で熊谷町長は「町の産物が勢ぞろいする祭りです。町を大いにPRする場にするとともに、皆さんの笑顔で盛り上げていただきたいです」とあいさつ。その後、開会宣言と同時に、先着限定で配られる餅や卵を楽しみに並んでいた方々が一斉に会場へ。来場客は、各ブースでの体験や買い物、スタンプラリーを楽しみながら、町内の幼児たちによる演技や、紫波総合高等学校郷土芸能部による船久保さんさ、紫波ひめ隊によ

第31回紫波町産業まつりは10月18、19の両日、サン・ビレッジ紫波で開かれました。今年も、町の特産品や産業などを紹介するブースが会場いっぱいになり、町内外から訪れた約2万1千人が紫波の魅力に存分に堪能しました。



つきたての餅のおいしさに思わずにっこり

歴史的つながりから 新たな交流に発展

彦部地区と青森県平内町

今年の産業まつりで人気を博したコーナーのひとつが、「三井報恩会と特定振興村彦部村を考える会」と青森県平内町によるブース。パネルによる交流事業紹介と平内町特産の活ホタテの貝焼き販売、ホタテ釣り大会が行われ、行列が途切れることなく続くほどの人気ぶりでした。

今回の取り組みは、平内町(旧・西平内村)が今から約80年前、彦部地区(旧・彦部村)と同時期に三井報恩会から産業振興の援助を受けた地区である縁から、企画されたもの。昨年、「三井報恩会と特定振興村彦部村を考える会」(長澤聖浩会長)が平内町を訪問したことがきっかけとなりました。

平内町役場水産商工観光課の須藤誠一さんは「こんなにたくさんの人に来ていただきうれしい。平内町を知っていただく機会になれば」と期待を寄せ、長澤会長は「このような交流を続けていくことで、お互いの地域の皆さんに、それぞれの産業や歴史を知ってもらうきっかけになればうれしいです」と思いを語っていました。



大人気だったホタテ釣り大会



大勢の人がブースを訪れました



子どもたちの
元気いっぱいの演技



産業祭りは、
にぎやかで、町の産業、
特産を一堂に見られるので
良いですね。



毎年、子ども
免許証の更新を楽し
みにしています。

野村吉巳さん、吉彦さん
真紀人君(赤石)



一升もち背負いに参加
したくて、金沢から実家に帰っ
てきました。参加できて目的達成です。
軟らかくてジューシーなラ・フランス
やお餅など食べさせてあげたい
です。

荒木明日香さん、花凜ちゃん
阿部春樹さん、滋子さん
(古館)



憧れの消防士さんを体験



食育コーナーでは、
お箸で豆つかみに挑戦



スタンプラリーと、
活ホタテを楽しみにしてきました。
おいしいものがいっぱいそろって
いるので、子どもたちと一緒に
楽しみたいです。



福士麻美さん、硯介君
七木田京子さん、惺大君、龍君
(長岡)



いわて国体に向けて
PRコーナーも設けられました

る華麗な舞と餅つきなどに盛大な拍手を送っていました。続く2日目もイベントが盛りだくさん。毎年恒例の満1歳一升もち背負いが行われ、泣き顔や笑顔などさまざまな表情を見せながら、たどたどしくも力強い足取りで歩く子どもたちに、声援や歓声が沸き起こりました。屋内では農産物争奪クイズ大会、ゆるキャラじゃんけん大会など、子どもから大人まで、楽しく参加できる企画で盛り上がり、出店コーナーでは、しわ豚やもちもち牛の試食に長蛇の列ができました。

まつりの最後は、約7俵1万2千個(分)のもちまき大会。会場は、収穫の喜びをかみしめながら楽しむ大勢の皆さんの笑顔と歓声であふれていました。

100歳おめでとう! 北條コトさん 鎌田トラさん

北條コトさん（北日誌）が9月20日に100歳の誕生日を迎え、26日に熊谷町長がお祝いに訪問しました。長寿の秘訣は「自分の好きなことをすること、歯を健康に保つこと」と北條さん。入れ歯が1本もなく「魚よりお肉が好き」と話す北條さんの楽しみは近所の友達と食事に行くことだそうです。熊谷町長が「おめでとうございませう」と声をかけ花束を手渡すと、満面の笑みで「ありがとうございます。周りの皆さんが気にかけてくれるおかげで生きられ、私はとても幸せです」と喜びを語っていました。



家の中より、外に出かけるのが好きで「外出すると元気になる」と話す鎌田さん（右）

田さん。30年ほど前にお孫さんにカメラを買ってもらって以来、写真撮影が好きで、老人クラブの展覧会に出展していました。長生きの秘訣を伺うと「働くこと。ごはんもおいしく食べられます」とはつきりと答え、庭仕事への意を感じさせていました。町内の100歳以上は、鎌田さんを含めて11人です。

鎌田トラさん（北日誌）が100歳の誕生日を迎えた10月3日、熊谷町長が鎌田さんのご自宅を訪れました。鎌田さんに「わざわざお越しいただいて」と笑顔で出迎えられた町長は「先輩方の元気な姿が目標となります」と声をかけました。朝早く起き、日課の庭木の手入れや草取りをするのが楽しみという鎌



着物姿でシャンとした北條さん。お誕生会では得意の踊りを披露されたそうです

自分たちが育てて作ったそばの味に感動!

上平沢小学校（中村恵利子校長）で10月28日、5年生13人がそば打ちを体験しました。総合学習の一環で行われたもので、この日使用されたそば粉も、児童たちが栽培、収穫した新そば。児童たちは、稲穂第一農産加工組合（西在家悦子組合長）のお二人から一つ一つの工程を教わりながら、丁寧に作業を進めました。試食を終えた金澤朋也君は「生地を伸ばすところが楽しかったし、自分で作った分おいしかったです。これまでの勉強で、そばを食べるまでにはいろいろな苦労があると分かったので、これからは感謝して食べたいです」と食べ物のありがたさを実感していました。



力加減に気を付けながら丁寧に生地をこねる児童たち

佐比内金山の栄華と隠れキリシタンの姿に700人が感動



迫真の演技に、観客はすぐさま物語の世界に引き込まれました

中央公民館で10月26日、2年ぶりとなる紫波町民劇場（藤尾充代表）第5回公演が行われました。エッセイス・ト澤口たまみさんによる原作・脚本、吉田和希さんの演出・主演、町民によるキャスト35人、スタッフ65人の手で、午前、午後の2回にわたり上演されました。劇の舞台は今から400年前の江戸時代。佐比内地区で始まった金の採掘を背景に、当時の隠れキリシタンを取り巻く藩の弾圧、その中で愛するものを命の危険から守ろうとする人々の姿が描かれました。劇中では、佐比内金山太鼓が力強く躍動的な音色で盛り上げ、特別ゲストの臼澤みさきさんの美しい歌声が花を添えました。会場に駆けつけた作家の高橋克彦さんは「故郷の誇りに気付ける舞台で、幸福な思いが湧き出てきた」と感動のあいさつ。訪れた彦部地区の女性は「佐比内の金山とキリシタンの歴史を初めて知って、興味深く見た。佐比内金山の当時の規模にも驚いた。キャストの数も多く、演技がとても上手だった」と満足の様子でした。

3年半紡ぎ続けた絆が深まる秋

洋子会長は「常日頃から恩返しができればと思っていたので、今日は感慨無量です」と感謝の気持ちを語っていました。11月23日には、赤石地区の皆さんが大槌町を訪れる予定です。



大槌産の海鮓で作られた鮭汁は「新鮮でおいしい!」と大好評でした

鮭とホタテで交流会 大槌町と赤石地区
赤石公民館で10月26日、「赤浜と赤石感謝の会」が開かれ、赤浜地区から訪れた16人が、赤石地区の約50人に鮭汁とホタテご飯を振る舞いました。これは、赤石地区の有志で発足された「赤石発—震災応援会(佐藤雄一代表)からの継続的な支援に感謝し、大槌町赤浜地区の皆さんが企画したもの。赤浜第二仮設団地自治会の佐々木



みんながお腹の底から笑いながら楽しんだ脳トレ体操

「被災地」としての枠を超えて、日詰公民館と大槌町有志が交流

台風19号が過ぎ去った10月14日、日詰公民館に大槌町から有志約30人が訪れ、日詰公民館の体操教室のメンバーを中心とした約40人の皆さんと、体操や歌唱、昼食会などをおして交流しました。大槌町から越えてきて20年以上上町内にお住まいの堀合繁子さんは「久しぶりに旧友に会えました」とにっこり。お姉さんが紫波に一時避難していた臼沢京子さんは「心温まる歓迎と楽しい時間をいただき、来て良かった。この縁を、これからも大切に育てていきたいです」と目を細めていました。

事故に遭わないため、安全ルールを確認



両耳で音楽を聞きながらの自転車運転は法律違反です

紫波郡交通安全対策協議会(熊谷泉会長)は10月21日、地域住民の交通安全意識の高揚を図るため、矢巾町の田園ホールで交通安全大会を開催しました。約400人の参加者は、講話や紫波町交通指導隊による交通安全寸劇などをとおして、車が通り過ぎるのを「待つ」ことや「安全確認」の大切さ、反射材の有効性などについて学びました。参加者は「内容がとても分かりやすかった。これから、ますます目没が早くなるので、午後4時ごろからの早めの点灯などを心がけたい」と意識を新たにしていました。

紫波一中60周年 パラリンピアン 佐藤真海さんが講演

紫波第一中学校(田口秀一校長)で10月21日、同校創立60周年を記念し、パラリンピック陸上走り幅跳び出場選手の佐藤真海さんによる記念講演会が開かれました。全校生徒763人に加えてPTA会員などおよそ900人が聴講。佐藤さんは「大切なのは、自分が失ったものではなく、自分が持っているもの」と話し「自分の力を出し切っていますか。限界のフタを外して挑戦しようと呼びかけました。3年生の千田悠稀くんは「佐藤さんのような選手でも、小さなことの積み重ねから始まっている。受験や進路の実現に頑張りたいです」と佐藤さんの言葉を胸に刻んでいました。



パラリンピックまでの道のりや、東京五輪招致委員会でのプレゼンテーションについて語った佐藤さん

更生活動を支えて20年 菅原一さん

長年、保護司として活動が続けてきた菅原さん(日詰)が10月16日、盛岡市都南文化会館で法務大臣表彰を受賞しました。20年を超える活動に加え、これまでの活動実績が特に顕著であると認められたことによるものです。10月20日に町長へ報告に訪れた菅原さんは「これまでさまざまな事業に携わってきましたが、最近では引



熊谷町長から「長年尽力くださりありがとうございます。今後もよろしく願います」と褒めの言葉をかけられた菅原さん(左)

の特色である地域や行政との連携を生かして活動していきたいです」と意欲を語っていました。



地域づくりにつながる 新しい発見をしよう

ゆいっとサロンは11月、まちづくり活動のサポート役として、県の「景観からの地域づくり」事業の委託を受けて、日誌地区で「わたしのまち☆ウォーキング」を開催します。オガールプラザをスタートして、大正時代の豪商「平井邸」や、昔ながらの魅力ある日誌商店街までを、「景観」の視点を持って歩きます。まち歩き当日は、地域の人を講師に迎え、日誌のまちの成り立ちや紫波中央駅のできた経緯について学びます。そして、もっと住み良い地域にするための将来像をイメージし、何をどんなふうに取り育て、何を変え直していく必要があるのかを探り、参加者全員で共有します。発見した素材を自分たちでできる地域づくり活動のきっかけにしようというものです。小学生から大人まで、また他の地域の人も参加予定です。

10月には事前勉強会を実施し、県のまちづくりアドバイザーの人から「地域づくりは暮らしをよくするための活動。今あるものに良いものを加えて展開させていくことが大切。何かを入れないと新しいものが生まれない」など、事例を交えてお話をいただきました。

開催当日は、リーダーさんを中心に子どもたちの目線も大切にしながら、住み慣れた「アタリマエのまち」の中で「若者が住み良いと思うまち」「もっと人に優しく人が集まるまち」を目指しているような発見があるといいですね。

市民活動支援センター ゆいっとサロン

開設・電話受付時間：

午後1時～6時(月曜日休み)

☎676-2468

ブログ：ゆいっと気まぐれ日記

ゆいっとサロン

検索

今なら学割実施中

通常価格より10,000円引きいたします!!

対象者：高校生・専門学生・大学生 対象期間：平成26年10月1日～12月末日まで

普通車 (MT) 通常 299,160 円のところ 普通車 (AT) 通常 284,580 円のところ

289,160 円(税込み) **274,580 円(税込み)**

277,000 円(税抜)

263,500 円(税抜)

※左記の料金は最短限の料金です。(全教習料、検定その他の費用を含みます。)
※卒業検定及び修了検定不合格の場合1時間以上の補修教習が必要となり、その費用は別途となります。(補修教習1時間 4,800 円、教検 5,400 円、卒業 6,480 円)
※教習員減価(2,800 円)は別途金がかかります。(料金は別) ※お客様の都合により中途解約した場合は、入学金と別に完結した教習等の料金は返金いたしません。
※高速教習は実車教習で行います。(但し、天候その他の理由で実車走行が不可能な場合は運転シミュレーターで行います。) ※他の割引との併用はできません。

公認 紫波中央自動車学校

〒028-3304 紫波町二日町字西七久保 66 番 1 <http://www.shiwachuu.jp>

☎019-672-4316 ☎0120-219-196 しゃちゅう 検索

こずかた診療所

内科・リハビリテーション科

■診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30

■受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00

■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもと看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。

■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-67-1 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)

☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

中央葬祭センター シンセラホール紫波

「しらゆり会員」募集中

○生花・盛籠(各種)1,000円割引

※税込21,000円以上の商品に限らせていただきます。

○祭壇貸出料20%割引

○通夜室使用料20%割引

○仏具展示品10%割引

○引き出物、返礼品10%割引

入会金
10,000円

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」

岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278

☎676-7676 FAX676-4404



オール電化 3LDK 高水寺新築建売

【手数料なし!】

2,020万円 (税込)



【土地面積】207.39㎡(62.73坪)【建物面積】93.15㎡(28.17坪)

【所在地】紫波町高水寺字大坊 154-18【建築年月】平成26年

11月5日【交通】JR古館駅まで徒歩22分【取引態様】売主

伸和ハウス株式会社 ☎0197-77-4176

北上店/北上市上江釣子 16-119

伸和ハウス

検索



特長との違い……住宅に入居して楽しくデイへの通いができます。

見学会実施中!入居者募集中!

サービス付き高齢者向け住宅・ハートホームだいち

お電話での問い合わせ

詳しくはホームページをご覧ください

☎019-613-8257 担当:吉田・遠藤 まで

ハートホームだいち 検索

<http://www.daiti-home.com/>

年中使える 便利な トラクター



ヤンマートラクター RS-27 1150hr 27馬力

1,450,000円

ヤンマートラクター F-230 322hr 23馬力

1,580,000円

(株)マイタコーポレーション ☎019(697)3939

紫波郡矢巾町煙山17-78-1(古物商:第211030000835号)

おさらいクイズ★ 知って分かって？

Q 地域の環境美化活動を町が支援する取り組みを何という？ (ヒント:「紫波○○○○応援プログラム」)

●「教育振興だより」でさまざまな取り組みが紹介されており、小さいころにいろいろな体験をして人とつながることがとても大切だと感じました。

(赤石地区・40代)



郵便はがきまたは電子メールで、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤答え⑥『紫波ネット』の感想や町政に対するご意見などを記入の上、ご応募ください。応募期限は**12月5日(金)**です。

〒028-3392 紫波町役場 企画課 情報政策室「おさらいクイズ」係

電子メール joho@town.shiwa.iwate.jp

正解者の中から、抽選で図書カードをプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています！

町長メッセージ

霜月に入り、山々を彩っていた紅葉も急速に色あせていく。動の夏から静の冬に向かう間の表情である。祭りの後のような一抹の寂しさを感じる季節である。

10月に行われた産業まつりは、初日こそ時折雨が落ちたが、2日目は好天に恵まれ、昨年並みの人出であった。町内の事業者や団体はもとより、福島県の古殿町、また今回から彦部地区との交流がある青森県の平内町の方々にも出店していただいた。ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げる。

町内では、桜まつり、夏まつり、産業まつり、冬まつりと四季折々に祭りを開催しているが、そのにぎわいは地域の活力のバロメーターである。

私も町内の各神社の例大祭に参拝しているが、実に立派な社殿が多い。それぞれに由来と長い歴史があるが、おそらくは最初の社は簡素なものであったと思う。時代を経るとともに地域の人々はそのより、時の権力者、資産家の尊崇の念を集めて、今日の姿に

なったものであろう。その伝統を継承してきた地域の人々の心意気とパワーが感じられる。

祭りと言えば、一方の主役は子どもたちである。今年の夏まつりでも町内のどこにこれだけの若い人子どもたちがいたのかと思うくらいの人出があり、町の秋祭りを代表する赤石さんのお祭りにも各組の山車を引く子どもたちの笑顔があった。

また子どもたちにとってのもう一つの楽しみは夜店である。あの薄明りの中で見る品々は、スーパには無いものだ。私が小さいころのお祭りと言えば、アセチレンガスとおもちのピストルの硝煙の臭いを思い出す。

秋祭りの終わりに佐比内町の熊野神社の例祭で、佐比内地区防犯協会によるわんぱく相撲大会が行われている。地域ならではの工夫があり、一般的な相撲の他に「けんけん相撲」には女子も参加し、体格に関係なく勝負が決まるから面白い。地域のパワーを感じるひとときであった。

熊谷 泉

当店には**認定眼鏡士**が在籍しております

詳しくはWebで

目明かし堂

検索

http://www.meakashi.com

☎676-2838

メガネは認定眼鏡士の店でお選び下さい。

各眼科処方箋承ります。

銭形争いのあるさと紫波町のメガネ店

眼鏡屋目明かし堂

有限会社 サトウ時計店

紫波町日詰字郡山駅209(日詰商店街・バス停前)

私のメガネは「認定眼鏡士」に作ってもらいました。



相心館 ゆう美容室

カットラインの魅力は内面を引き出せる事
メイクアップの魅力は自分を
素直に見せられる事

12月19日カットまつり決定 予約承り中

メール会員になると、もっとお得な情報が
ゲットできます!携帯・スマホからアクセス!

【定休日】

11月10日・16日・17日・24日 12月1日・8日・15日

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-32

TEL019-676-5825

E-mail yu@posh.jp

OPEN 8:40
CLOSE 18:30

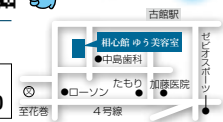


秋

ぱーま

キャンペーン

11月11日
～30日
まで





東京都の鉄道博物館に使用されているものと同じHOゲージの鉄道模型。蒸気機関車の車輪の動きは、大人も思わず見入ってしまうほどとても繊細で美しい。
※HOゲージとは、縮尺1/87、軌間16.5mmで作られる鉄道模型の規格のこと。



船舶、ヘリコプター、飛行機などこれまで手がけたさまざまな模型が飾られている阿邊さんのご自宅。



阿邊暢克さん
(連絡先 古館公民館 ☎672-2323)



子育て支援ボランティア「ひよこひろば」での一コマ。子どもたちは手を振ったり、手でトンネルを作ってみたりして、飽きることなく電車を眺めていました。

情報求む！ あなたの身近な達人を ご紹介ください

町は、皆さんの身近にある「これはすごい！」「みんなに広めたい！」という達人技や名人、職人、趣味人など、紫波の魅力として紹介したいと思う地域の方々（企業）の情報を募集しています。小さな情報でも構いませんので、ご連絡をお願いします。

【連絡先・問合せ】

〒028-3392 紫波町役場 企画課
情報政策室「紫波の達人」係
☎672-2111 (内線3232)
✉joho@town.shiwa.iwate.jp

シリーズ*行ってみよう
訪ねてみよう紫波の達人

地域の人たちの 笑顔をひき出す鉄道模型

あべのぶかつ
阿邊暢克さん

「わあ!!」「すごい!!」と古館ふれあいホールの館内いっぱいに広がる子どもたちの笑顔と歓声。10月22日、子育て支援ボランティアグループ「ひよこひろば」による「模型電車で遊ぼう」のイベントが行われたときのこと。グループの一員で古館地区の阿邊暢克さんが、趣味で作った鉄道模型を子どもたちの目の前で走らせて見せました。

阿邊さんが所有している鉄道模型は、「HOゲージ」と呼ばれる規格のもの。本物と同じ緻密な造りを再現できる大きさであることから、ライトをつけたり座席をつけたり、細かいところまで作り込み、走行音もより本物に近いことが魅力です。

阿邊さんが模型作りを始めたのは、今から約30年前。人付き合いの多い仕事だったことから「家に帰ったら全く違うことをやって気持ちの切り替えをしよう」と始めたそうです。当時小学生だった息子さんたちを喜ばせよう

と、複線式の線路やコントローラーも自作。手をかけて作った模型たちが想像どおりに動いた時の喜びや達成感から「次はこうしてみよう」と新たな創作意欲は尽きず、今では船舶やヘリコプター、水上機や双発機型の飛行機模型などまで製作範囲を広げてきました。

そんな阿邊さんが一番うれしい時は、やはり、子どもたちの喜んでる姿を見たとき。「鉄道模型を走らせるためには、大きなスペースと組み立てる時間が必要なので、なかなか機会がないのですが、こうして子どもたちに喜んでもらえることができてうれしいです。いつかは壊れるもので、みんなと一緒に面白さを共有していければいいと思います」と気取らずに話します。「『万年青年』の気持ちでいたい」と話す阿邊さんの生き生きとした表情は、尽きることのない好奇心と創作意欲、そして子どもたちとの交流から来ているのかもしれない。